

第10回「文芸思潮」エッセイ賞 発表

第10回
文芸思潮
エッセイ賞

二〇一四年度第10回「文芸思潮」エッセイ賞に四七七篇という多数の御応募をいただき、まことにありがとうございます。今回も若年層から八十歳代の老年層まで幅広い世代から寄せられたばかりでなく、アジアやヨーロッパなど世界中から広く御応募をいただきました。また貴重な体験だけでなく、重要な記録や、社会に対する鋭い批評も多く寄せられ、現代に生きる人々の様々な姿が如実に窺われる10回の節目にふさわしいコンテストとなりました。

例年の通り、まず選考委員会予選担当による第三次までの予選選考が行なわれ、最後に三神弘、水木亮、福岡哲司、都築隆広、五十嵐勉五人の選考委員によって討議されました。厳正な審査の結果、以下の通り受賞作が決定いたしましたので、ここに発表させていただきます。

今号には当選および優秀賞を発表させていただきますが、以後奨励賞なども、極力「文芸思潮」誌上に掲載させていただきます。御期待ください。

なお授賞式は明年二月十五日(日)大田区民プラザで行なわれる予定です。受賞者以外でも参加できます。たくさんの方の御出席をお待ちしております。

「文芸思潮」エッセイ賞

最優秀賞

「オパールの指輪」

清水文子 (東京都渋谷区)

「脚を創ろう」

印南房吉 (神奈川県横浜市)

社会批評賞

「タイヤ検死官」

竹中水前 (東京都葛飾区)

「パキスタンの乾いた風」

岡野真弓 (東京都新宿区)

社会批評特別賞

「続・私の『松川事件』」 高原万里子

(宮城県白石市)

優秀賞

「三十三年目の富士山」

板東洋三郎 (神奈川県横浜市)

「おふくろの指文字」

宮川行志 (熊本県宇城市)

「足跡」

家森澄子 (岡山県倉敷市)

「アオサギのいる風景」

井上幸子 (岡山県津山市)

「ランドセル」 西本美彦

(滋賀県大津市)

「子牛の涙」 八束一臣

(鳥取県境港市)

「ハナの墓」 近藤幹夫

(福井県勝山市)

「小さな運び屋」 竹澤一晃

(埼玉県さいたま市)

社会批評優秀賞

「再会」

高橋由紀雄 (北海道赤平市)

「贅沢列車」

濱田亜梨紗 (京都府京都市)

奨励賞

「柿の味」

山崎人功 (長野県安曇野市)

「戦争の記憶」

中川一之 (京都府京都市)

「賀状」

遠藤芳子 (東京都狛江市)

「インドの夕日、そして闇の中へ」

坂本那香子 (神奈川県川崎市)

「今夜でもいいよ」 牧 康子

(東京都杉並区)

「凜」

蘭 藍子 (愛媛県松山市)

「返事〜2011.5.11〜」 佐藤ゆみ子

(宮城県仙台市)

「道化師になれぬなら」

すずきみのり (静岡県三島市)

「長谷川先生」

日沼よしみ (山梨県南アルプス市)

「父の辛子漬け」

中村行寿 (岩手県滝沢市)

「文盲」

藤原恵子 (北海道札幌市)

「オモニハツキヨと妹と」

きひつかみ (大阪府柏原市)

「草むしりの奇跡」 吉永祐治

(鹿児島県鹿児島市)

「ライムライト」 きむキョンヒ

(東京都世田谷区)

「誰がために今はある」 逢坂栄紀

(千葉県松戸市)

「殺されるのか!？」 西島雅博

(福島県いわき市)

「祖父の長火鉢」 大樹独活 (三重県四日市市)
「中庭の風景」 マイヤー三四子

(Zurich, Switzerland)

「目の中にある生と苦しみ」

坂部一美 (愛知県知多郡)

「感じること」 オリーブ (神奈川県鎌倉市)

「母の手」 松本 柊 (東京都八王子市)

「山村の癒し人」 加川真美 (京都府京都市)

「漁師の流儀」 武村三幸 (埼玉県川口市)

「弟」 瀬川真一 (三重県名張市)

「祖母の織った半幅帯」 武藤蓑子 (東京都多摩市)

「松山」 ともりんたろう (東京都中野区)

「閉店前夜」 小野友貴枝 (神奈川県秦野市)

「線路工手の歌」 奥田 登 (京都府相楽郡)

「琵琶湖の阿弥陀はん」

よすみこうすけ (大阪府高槻市)

社会批評奨励賞

「ほぼ完璧な社会の幸せ？」

中田和子 (Nordborg, Denmark)

「強いられた連想」 諸原龍之介 (東京都港区)

「三菱重工工業爆破事件——そのとき私は——」

浜木綿 (東京都世田谷区)